

科目名	人体構造機能学Ⅰ（筋・骨関節系）	担当教員	鈴木大輔 ※印は実務経験のある教員を示す。
-----	------------------	------	--------------------------

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
理学療法専攻 作業療法専攻	専門基礎科目	必修	1年次	前期	3単位	講義
ナンバリングコード	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
HR13AC	②					

科目概要	基本的な運動機能や日常生活活動の改善を図るリハビリテーション専門職として、人体の形態的特徴や構造（解剖）、及びその機能や仕組み（生理）を理解することは必須である。特に人体の筋・骨関節に関する構造や機能の知識は、身体運動の帰結を解明する思考過程において、人体の構造と機能を関連づける最も基本となる学問である。本科目では、身体各部の主要な骨、関節、骨格筋について、一般的な構造と機能を理解することを目的として学習する。
学習目標	① 骨形態と関節・筋付着部の関連性を理解する。 ② 関節と運動の関連性を理解する。 ③ 筋の起始・停止を覚え、筋の働きを理解する。

回	項目	主な学習内容	学習目標	実務経験 教員担当 項目
1	I：骨学	(1) 骨学総論：骨の発生と成長・骨の構造	骨の発生と成長・骨の構造を理解する。	
2	I：骨学	(1) 骨学各論：頭骨（頭蓋骨）	頭部を構成する骨を覚える。 頭蓋や顔面の構成を理解する。	
3	I：骨学	(2) 骨学各論：頭骨（顔面骨）	頭部を構成する骨を覚える。 頭蓋や顔面の構成を理解する。	
4	I：骨学	(3) 骨学各論：椎骨と肋骨①	頸椎・胸椎の名称を覚える。 椎骨の基本形・各椎骨の特徴を理解する。	
5	I：骨学	(4) 骨学各論：椎骨と肋骨②	腰椎・仙骨・尾骨・肋骨・胸骨の名称を覚える。 仙椎、尾椎の癒合と胸郭の構成を理解する。	
6	I：骨学	(5) 骨学各論：上肢帯を構成する骨	上肢帯を構成する骨の骨形態を理解する。	
7	I：骨学	(6) 骨学各論：上肢を構成する骨	上肢を構成する骨の骨形態を理解する。	
8	I：骨学	(7) 骨学各論：下肢帯を構成する骨	下肢帯骨、自由下肢骨の名称を覚える。 骨の形態と運動の関連を理解する。	
9	I：骨学	(8) 骨学各論：下肢（股関節、膝関節）を構成する骨	下肢帯骨、自由下肢骨の名称を覚える。 骨の形態と運動の関連を理解する。	
10	I：骨学	(9) 骨学各論：下肢（足）を構成する骨	足を構成する骨の名称を覚える。 足アーチを理解する。	
11	I：骨学	(10) 骨学各論：骨学スケッチ（頭骨・椎骨）	骨のスケッチをすることによって、骨の三次元的な構造を理解する。	
12	I：骨学	(11) 骨学各論：骨学スケッチ（四肢骨）	骨のスケッチをすることによって、骨の三次元的な構造を理解する。	
13	II：筋学	(1) 筋学総論：筋の機能	一般的な筋の構造、働きを覚える。	
14	II：筋学	(1) 筋学各論：体軸筋（頭頸部の筋）	筋の名称、支配神経、起始・停止を覚える。 筋の働きを理解する。	

15	II：筋学	(2) 筋学各論：体軸筋（固有背筋）	筋の名称、支配神経、起始・停止を覚える。 筋の働きを理解する。	
16	II：筋学	(3) 筋学各論：体軸筋（胸筋群、腹筋群）	筋の名称、支配神経、起始・停止を覚える。 筋の働きを理解する。	
17	II：筋学	(4) 筋学各論：上肢帯、上肢の筋 I	筋の名称、支配神経、起始・停止を覚える。 筋の働きを理解する。	
18	II：筋学	(5) 筋学各論：上肢帯、上肢の筋 II	筋の名称、支配神経、起始・停止を覚える。 筋の働きを理解する。	
19	II：筋学	(6) 筋学各論：下肢帯、下肢の筋 I	筋の名称、支配神経、起始・停止を覚える。 筋の働きを理解する。	
20	II：筋学	(7) 筋学各論：下肢帯、下肢の筋 II	筋の名称、支配神経、起始・停止を覚える。 筋の働きを理解する。	
21	II：筋学	(8) 筋学各論：下肢帯、下肢の筋 III	筋の名称、支配神経、起始・停止を覚える。 筋の働きを理解する。	
22	II：筋学	(9) 筋学各論：スケッチ	筋・骨のスケッチをすることによって、筋・骨 の三次元的な構造を理解する。	
23	II：筋学	(10) 筋学各論：スケッチ	筋・骨のスケッチをすることによって、筋・骨 の三次元的な構造を理解する。	
評価方法		筆記試験(100%)		
課題に対するフィードバック		<p>ここでの課題は、「授業内容の理解」とします。 それに対して①-④のフィードバックを行います</p> <p>① 授業後の確認テスト ② 次の授業前の簡単な解説（出来が悪い確認テストの問題に対して） ③ 個人的な対応（質問に対する回答や解説など） ④ 期末テスト</p>		
教科図書		F.H.マティーニ、他・著『カラー人体解剖学 構造と機能：マイクロからマクロまで』西村書店、2003年		
参考図書		なし		
学習の準備		<p>予習はしなくてもいいですが、復習は必ず行って下さい</p> <p>講義の理解できた箇所、理解が不十分である箇所を明確にしておき、不十分である箇所は次の講義で質問できるよう準備をする(90分)</p>		
オフィスアワー		<p>月曜日 13時-17時半、水曜日 13時-17時半</p> <p>その他在室時はいつでも可</p>		
担当教員欄に※印を附した教員の 実務経験				